

国営明石海峡公園アウトドア・ベースエリアにおける官民連携による魅力向上推進方針（案）概要

- この方針は、官民連携により質の高い海辺のアウトドア体験ができるよう再整備を行う予定のアウトドア・ベースエリアの再整備・管理に向け、そのあり方について国の考え方をとりまとめるもの。

■ 早期に進めるべき取組の具体的な方針

| 項目 | 主な具体策・留意事項 |
|--------------------------------|--|
| (1) 多様な主体との連携による魅力向上 | ○民間事業者との連携による魅力向上を推進 ・園内の賑わい創出 ・利用者サービスの持続可能な形での提供 ・地域との連携 ・本公園淡路地区内や淡路夢舞台等の隣接地で既に取り組まれている事業との相乗効果 |
| (2) 海辺の景観を活かした整備と保全・活用 | ①質の高い海辺のアウトドア体験の実現 ②景観の保全 ・園内や淡路夢舞台等からの眺望を保全 ・オープンスペースを確保 ・芝生広場や淡路らしい植物、海が調和する海辺の景観を継承 ・生きものの生息環境に配慮しつつ、眺望・見通しへの影響等も踏まえた植物管理を実施 |
| (3) シースケープ・ラウンジエリア等との連携強化 | ○公園利用者の園内移動に配慮 |
| (4) 整備・管理両面における安全・安心な利用や快適性の確保 | ○基本計画に位置づけられている「ダイバーシティ&インクルージョン」の考え方を踏まえ、多様な利用者に配慮 ○洗掘を受けている護岸の整備を継続し完了 ○利用者層・利用者数の想定に基づいた妥当性・実現性の高い整備・管理 |

■ 整備・管理の方向性

(2)② 文化交流ゾーン、淡路夢舞台等からの眺望を保全

(4) 「ダイバーシティ&インクルージョン」の考え方を踏まえた公園づくり

(2)② オープンスペースの確保、芝生広場・クロマツ・ハマボウ・ツツブキ等の淡路らしい植物・海が良く調和する海辺の景観の継承

(3) 隣接エリアとの連続性への配慮

(2)②
・園内に飛来してくる野鳥等の生きものの生息環境に配慮した植物管理
・眺望や見通しに影響を及ぼす植物や植物同士又は施設への重なりがある植物の間引き・剪定等適切な植物管理

(4)
・洗掘を受けている護岸の整備を継続
・遮るものがない海辺の眺望を楽しみながら散策できる園路を海沿いに整備

(1) 有料/無料区域を境界として民間連携事業の対象を設定することを検討

(2) 「いその楽園」においては、磯に触れ、海辺の生きものを観察できる環境を活かしたイベント開催等を継続

(2)① 質の高い海辺のアウトドア体験の実現